

評価シート（年度評価）

名古屋市芸術創造センターの管理運営状況

1 基本情報

<所管局:観光文化交流局>

指定管理者	公益財団法人名古屋市文化振興事業団		
主な業務内容	名古屋市芸術創造センターの管理		
評価対象期間	平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月	指定管理期間	平成 28 年 4 月～令和 4 年 3 月

2 評価結果

評価項目			評価区分	特記事項
1 施設利用	(1) 法令等の遵守	法令等を遵守しているか。	○	
	(2) 利用料金	利用料金は適切に管理されているか。	○	
2 職員体制	(1) 職員体制	職員の配置等体制及び研修が適切に保たれているか。	○	
3 維持管理	(1) 施設の維持管理	建物・設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(2) 舞台設備の維持管理	舞台設備が適切に維持管理されているか。	○	
	(3) 再委託業務	再委託した業務が適正に履行されているか。	○	
	(4) 備品等物品の管理	備品等物品が適切に管理されているか。	○	
4 サービス	(1) 利用実績	当初の計画通りの利用実績が達成されているか。	◎	・ホール利用率 95.9% (1 月末時点) で、対 計画値比 4.9 ポイン ト増、非常に高い利用 率を維持
	(2) 事業計画実施状況	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(3) 提案事業	提案した計画通り実施されているか。	○	
	(4) 広報・P R の実施	各種媒体による情報提供が適切に実施されているか。	○	
	(5) 利用者満足度・苦情・ 要望の把握・対応	利用者の満足度、苦情・要望を受けて、迅速に対応でき ているか。	○	
5 経費	(1) 執行状況	経費が適切に管理されているか。	○	

【総合評価】

所管局のコメント・特記事項等
近隣企業に利用促進の営業活動を行い新規顧客の開拓に努めるとともに、毎月近隣企業・店舗・ギャラリー等へ職員が直接訪問して機関紙「トキメキ通信」の配架を依頼するなど、積極的に劇場のPRを行った。この結果、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の1月末時点でのホール利用率は95.9%、練習室利用率は100%と前年度に引き続き非常に高い利用率を維持した。 施設事業の「演劇アカデミー」は文化庁の補助金を獲得し、内容を充実させて実施することができた。この事業を通じて演劇に意欲のある市民に成長の機会を提供することができ、演劇に関わる人材の育成に寄与した。

施設の現状

芸術創造センター

施設の現状	施設概要							
	芸術文化の創造及び芸術文化活動の交流の場を市民に提供するとともに、芸術文化に関する情報資料の供用等を行うことにより、芸術文化の振興に寄与するため設置された施設です。具体的には、ホールやリハーサル室等施設の貸出や、資料室の運営を行っています。また文化創造発信の拠点として、地元文化芸術団体と連携し作品を創作したり、鑑賞機会を提供する主催事業を行っています。							
	市の収支状況(千円)（元年度決算見込み額）							利用料金
	支出			収入				
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	
	102,944	5,423	108,367	579	0	107,788	108,367	57,368
	特記事項							
管理運営指標の状況	取組状況							
	指標		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成元年度	
	利用率(ホール)		%	93.8	95.3	98.9	88.8	
	利用率(リハーサル室及び練習室の平均)		%	99.8	99.1	99.7	96.8	
	収支率		%	47.5	47.2	44.9	40.2	
	特記事項							

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載